



近一だより

旭川市立近文第一小学校
令和4年度 第10号
令和4年12月23日発行

終業式の「society5.0 (ソサエティ5.0)」

校長 鈴木康弘

令和4年も年の瀬を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様、本年も近文第一小学校の教育活動へのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。今年は昨年以上にコロナが身近な脅威となり、全道、管内、市内ともに感染者が増え、その予防対策に苦慮した1年間でした。多くの体験的な学習を縮小し、学校行事が時短や分散のかたちとなりました。PTAや地域との連携でも思うような活動ができず、申し訳なく残念な思いです。

今月、文部科学省の声明もあり、感染対策も徐々に緩和されていくと予想されます。とはいえ、未だ飛沫感染のリスクが高い活動(例えば調理実習や歌唱など)や屋内で全校児童が集まったの集会・朝会も未実施のまま。2学年、3学年規模(100名ほど)での活動が可能になりつつある程度です。年度内、感染者が増加せず、教育活動を順調に進め、充実させていければと期待しているところです。

本日の2学期終業式は、オンラインでの実施としました。今回の校長講話(コロナ禍ではずっとZoomでお話をしています。気分は半分ユーチューバーです)、話題は「Society5.0 (ソサエティ5.0)」についてです。少し重いテーマですが、今後10年で世の中の様相がガラッと変わるとあらば、今の子どもたちが正に社会に出ようとする時期。避けては通れない問題です。

「Society5.0」とはAIやIoT, ロボット, ビッグデータなどの革新技术をあらゆる産業や社会に取り入れることにより実現する新たな未来社会の姿で、「人間中心社会」とか「情報活用社会」とか「超スマート社会」とかいわれる社会構造システムを指します(イメージとしては映画「トータル リコール」のはじめの場面でしょうか)。この社会の最終形態では、「健康・医療, 農業・食料, 環境・気候変動, エネルギー, 安全・防災, 人やジェンダーの平等などの様々な社会的課題の解決とともに、国や人種, 年齢, 性別を越えて必要な人に、必要なモノ・サービスが、必要なだけ届く快適な暮らしが実現(経団連HP)」するとのこと。夢のようなとても便利な社会が実現する未来予想図ですが、AIやロボットに支配され、監視される未来が待っているかもしれません。だからこそ子どもたちは今からしっかりと準備していくことが大切です。一というような話を伝えて伝えました。明日からは冬休み。子どもたちには、これからの自分をつくっていくためにも、健康・安全と自律を心掛けた生活を送ってほしいと願っています。



改めまして地域・保護者の皆様には、今年も本校教育推進のためにご理解とご支援をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。よいお年をお迎えください。



行事予定

- | | |
|---------|---------|
| 13日 (金) | 3 学期始業式 |
| 16日 (月) | クラブ |
| 23日 (月) | 委員会活動 |
| 24日 (火) | 避難訓練 |
| 30日 (月) | クラブ |

1月の生活目標
笑顔や会釈で
あいさつしよう

☆冬休みは20日間。夏休みより短いです。クリスマスやお正月などの行事もあり、慌ただしくなりがちです。計画的に過ごせるように、お子さんにアドバイスをしてあげてください。

いじめ把握アンケートから

11月に全校児童を対象に「いじめ把握アンケート」を行ったので、結果などをお伝えします。なお、このアンケートは2月にも実施される予定です。

- ①アンケートで「(今年4月から)嫌な思いをしたことがある」と答えた児童から、個別に話を聞きました。その結果を踏まえて、校内で「いじめ防止対策推進委員会」を開き、9件をいじめと認知(積極的な認知を行っております)しました。ただし、「いじめ重大事案」と認定するケースはありませんでした。今後もいじめの未然防止と早期発見、注意深い観察に努めてまいります。保護者の皆様のご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。
- ②「嫌なことがあったとき、誰に相談しますか(複数回答可)」の質問に対し、最も多いのは「学校の先生(142人)」, 続いて「父や母(137人)」となりました。このことから、保護者の皆様と学校が協力し合うことが、いじめ解決の鍵となると考えています。

移動原爆展 行われる

12月初旬に、本校で「移動原爆展」が行われました。市から借りた写真などの資料を展示することで、戦争被害の悲惨さや平和の大切さについて考えることを目的としています。



6年生は、核兵器によって悲惨な状況となった街や人について伝える資料を真剣に見て、核のない世界の実現の重要性を強く感じていたようでした。

入賞おめでとう！

「第14回税に関する絵はがきコンクール」で、6年生の■■■■さんの作品が、見事「旭川中税務署長賞」に選ばれました。おめでとうございます！

廊下には、他にもスポーツや芸術の分野で大活躍した子どもたちが紹介されています。



さまざまな教育活動が行われています！

今回は、12月に教室で行われたいつもと違う授業をいくつか紹介します。

2年生が取り組んでいるのは「チャレンジテスト」。これは全道の小学生がこの時期に挑戦しているテストで、苦手な内容や問題を把握することを目的にしています。2年生の皆さんは、とても熱心に取り組んでいました。

4年生と6年生の写真は「出前授業」の様子です。専門家を授業にお呼びして、子どもの「もっと知りたい」を刺激する時間です。4年生はJICAの高柳さんをお迎えし、開発途上国の実情や日本との関係、国際協力について考えました。6年生は上川振興局の斉藤さん・佐々木さんをお迎えし、税の意義や役割について身近な例から考えました。



2年生…チャレンジテスト



4年生「JICA 出前授業」



6年生「租税教室 出前授業」

年長さんと交流しました！

1年生が、「つくし幼稚園」や「末広こまどりこども園」の年長さんと触れ合いました。コロナウイルス感染症対策のため、直接触れ合っただけの交流はできませんでしたが、踊ったり、リレーをしたりして楽しい時間を過ごしました。

最後に、年長さんは各教室で勉強する小学生を見学して歩きました。クラスによって、手を振ったり、笑顔を向けたりする様子が見られました。どのクラスの子どもからも、新1年生の皆さんを歓迎する気持ちが伝わってきました。

